



島根県立大田高等学校
(公立・普通科・理数科)

「外部人材の積極的な活用」

取組

Virtualion株式会社と連携した取組（ヴァーチャル・ミュージアム作成）、理数科課題研究

○大田高校美術部の作品の美術館を作成

パソコン・スマホを利用して課外活動に取り入れ、生徒の興味・関心を引き出し、また、この作品を通し、県外との交流や学芸員との交流を自発的にを行うことを促進

⇒実際に展示室を作成する上での問題解決を学ぶ機会を提供

⇒最先端技術を理解し、今後の活用方法を主体的に考える人材の育成

《今後》

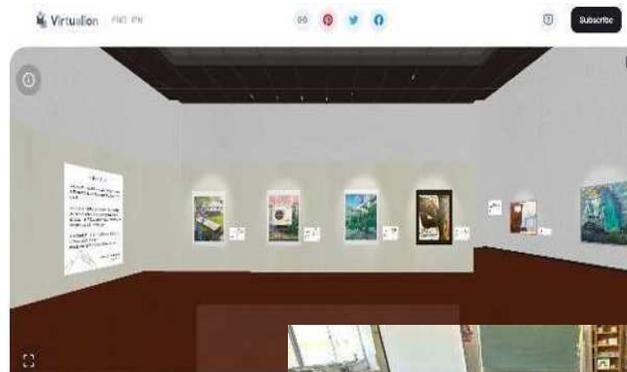
- ① 同じくヴァーチャル・ミュージアムを作成している高校との交流・合評会
- ② 写真部の作品を同じくミュージアムを作成
- ③ 大田高校にある展示物の3D化して同じく展示室を作成

○シミュレーターを用いて効率のよい避難経路の確立

避難訓練の時、階段などの通路が混み具合を調べ、効率の良い避難経路をシミュレーターを用いて、3D化していく作業を行う【理数探究】

《今後》

- ・3D化したものをソフトを活用し、2D化し、分かりやすくしていく



育成する生徒像・取組による効果

- ① 自己理解力・対話的表現力・主体的行動力を育む
- ② 試行錯誤しながら、自ら起こる課題を解決する能力や充実したICT環境を活用して的確に情報収集できる能力が養われる

※美術館については専門人材、3Dについては大学の先生に指導をお願いしている